



棚野町長から辞令を受け取る春田さん(中央)

TOPIC 4
7/21 教育委員に
春田修吾さんを任命

教育委員会委員辞令交付式

町教育委員会委員の辞令交付式が役場で行われ、春田修吾さん(43歳)に棚野孝夫町長から辞令が交付されました。

社会福祉協議会に勤めている春田さんは、7月26日に任期満了を迎えた谷口修さんの後任で、任期は7月27日から令和7年7月26日までの4年間です。

春田さんは「人の気持ちに寄り添う心をもった子どもたちを育てる環境づくりができるよう、微力ですが精一杯努めさせていただきます」と話していました。

TOPIC 5
7/28 白糠中学校バドミントン部
全道大会出場

バドミントン中体連全道大会出場報告

バドミントンの中体連全道大会(7月30日、岩見沢市)への出場報告会が役場で行われ、白糠中学校の生徒10人が川島眞澄教育長に健闘を誓いました。

6月に行われた釧根地区予選会において、女子団体で優勝、男子ダブルスでは對木ペアが優勝、松下姫香さんが女子シングルスで準優勝しました。

報告会では、出場選手を代表して對木隼祐さんが「釧根の代表として、みんなの気持ちを背負って力いっぱい練習の成果を出して頑張ります」と誓いました。



役場を訪れた選手たち(氏名は下段に掲載)

TOPIC 6
7/31 作って楽しい夏休み工作

土曜サロン「つくってみよう!夏休み工作」

町教育委員会主催の土曜サロン「つくってみよう!夏休み工作」が、町公民館で開かれました。

小学1年生2人と小学3年生2人、保護者の4組が参加。笠原邦夫さんが講師を務め、立体メガネ、カメラのフィルムケースを使った水笛、トイレトーパーの芯を使った万華鏡を作りました。

戸田安思さん(庶路3年)は「水笛を作るのが一番楽しかった。作るのも難しかったけれど、音を上手に鳴らすのも難しかったです」と笑顔で話していました。



笠原先生から作り方を教わる、安思さん(右)と妹の帆南さん(左)

TOPIC 1
7/13 海をきれいにしよう

園児がパシクル海岸でゴミ拾い

白糠子ども園と庶路子ども園のぞう組(5歳児)の園児たちがパシクル海岸のゴミ拾いを行いました。ゴミを捨てずに自然を大切にする心を育てることが狙いです。

園児たちはペットボトルや発砲スチロールなど、海岸に漂着したいろいろなゴミを拾い集めました。その後、園児たちはきれいになった海岸で、走り回ったり貝殻を集めるなどして、楽しそうに遊んでいました。

白糠子ども園の對木彩希菜ちゃんは「きれいになった海岸で遊んで楽しかった」と笑顔で話していました。



拾ったゴミを見て「これは何?」と先生に聞く園児たち

TOPIC 2
7/19 代表標語
「ごめんなさい 相手からじゃなく 自分から」

社会を明るくする運動入選標語表彰式

社会を明るくする運動白糠推進委員会(棚野孝夫会長)主催の令和3年度標語募集で、集まった93作品の中から入選標語に9作品が決定。代表標語は庶路学園5年の大坂章悟君の作品が選ばれました。

この日は、庶路学園で表彰式が行われ、大坂君と入選標語に選ばれた同校9年の竹本沙咲さん、同校6年の齋藤夢花さんに同会副会長の川島眞澄教育長から賞状と記念品が贈呈されました。大坂君は「代表標語に選ばれてうれしい」と笑顔で話していました。



左から川島教育長、大坂君、齋藤さん、竹本さん。入選標語は22頁に掲載

TOPIC 3
7/20 JR釧路-白糠間開通120周年

120周年記念フレーム切手贈呈式

日本郵便北海道支社は7月20日から、JR根室線の釧路-白糠間開通120周年を記念したフレーム切手の販売と小型印の押印を始めました。

今年は郵政創業150周年でもあり、郵便の発達に貢献した鉄道とは密接なつながりがあります。この日は、釧路地区連絡会の佐藤太一総括局長と石栗征剛副総括局長、藏本博幸白糠郵便局長が役場を訪れ、棚野孝夫町長に切手を手渡しました。佐藤局長は「歴史を振り返るとともに道東のPRになれば」と話していました。



切手フレームを手に佐藤局長(左)と棚野町長